学校番号	119

令和２年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単 位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編「書道Ⅰ」 （教育出版）						
副教材等	硬筆レッスン帳 （教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術科書道では用具用材の特長や性質の違いを理解し、書風やその表現の違いを学んだ上で、自分の求める表現方法を探ります。「言葉」を選ぶことも大切です。
・書線の魅力を知り、筆の弾力を使いこなし、生命力あふれる作品を作ることをめざします。
・楷書の古典を比較し「見る・観る」力を養い、行書や仮名の筆意・筆脈を体感し、篆書隷書草書と書体史に触れ、『古典』を臨書し楷書に至るまでの書体の変遷を理解します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の中で書の文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察レポート ワークシート	観察レポートワークシートポートフォリオ提出作品	観察レポート ワークシート 提出作品	観察レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道 (書体の変遷)	・書写と書道 ・文房四宝 ・墨を極める ・筆の弾力を使う ・「道」「照」 ・書体の変遷 ・書風とは ・「永」「成」 ・書風を観る	○			○	a:書の魅力（気韻生動）を感じ、文房四宝（筆・墨・硯・紙）に関心をもち、学習に主体的に取り込もうとしている。 ・墨の魅力、(淡墨・濃墨、潤・渇) ・筆の特長（弾力・穂先）を捉えて表現を工夫している。 ・姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d：書風の違いによるそれぞれの表現効果に気づいたか。	観察 レポート ワークシート 提出作品
5 6		・さまざまな楷書 「天風」「武」「誠」 ・背勢と向勢 ・方勢と円勢 ・露鋒と蔵鋒 「道」6種 「大道無門」6種	○	○			a:線の形や接し方、長さをよく見て同じ文字を書き分けている。印象の違いを捉えて、書風の違いやさまざまな書のよさを味わっている。 b:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6 7	楷書のまとめ 漢字の書 (五書体の学習 1文字 雅印作成 朱文) 篆書	・初唐の三大家と顔真卿、鄭道昭、造ぞう ・・自分の名前文字調べ ・五書体の学習 ・印稿作成 ・名前の漢字一文字朱文印 制作 ・相互鑑賞会	○	○		○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
8	漢字の書 (硬筆)	・楷書と行書 (夏期休業中の課題としても扱う。)		○		○	b：硬筆を丁寧に美しく書く能力を身に付け、その向上に努める。 d：書道展や美術展に行き、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	レポート 課題提出

9 10 11	6分印材 行書 隷書 漢字仮名交じりの書	・印の完成と相互批評 ・『蘭亭序』	○		○	○	a ：行書の特徴を理解し書き分けようとしている。 ・『蘭亭序』を１行 ４分のペースで全臨に取り組んでいる。 ・隷書の特徴を理解する。 c ：漢字と仮名の調和、構成を考える墨色・墨量、余白の効果を学ぶ d：様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
12	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字 （冬期休業中の課題）		○		○	b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察提出作品
1 2 3	『蓬莱切』を臨書 『高野切』を臨書 短冊作品を作る 自分の作品を表装する(作品発表)	・色紙作品制作語句 の選定文字調べ草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:仮名の美（流動美）仮名の線・筆遣いについて理解している。連綿や変体仮名について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：変体仮名や連綿を使い、仮名のリズムや流動美を表現している。 c ：自作の俳句を連綿や各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 d：作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、相互批評を行う。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫 c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。